

総務文教常任委員会記録

令和3年2月26日（金）

場所：鳥栖市議会 第1委員会室

令和3年2月26日 日程

日次	月日	摘要
第1日	2月26日(金)	所管事務調査 新庁舎整備事業について 〔報告、質疑〕

1 出席委員氏名

委員長	中村直人	委員	尼寺省悟
副委員長	久保山博幸	〃	中川原豊志
委員	森山林	〃	伊藤克也
〃	久保山日出男		

2 欠席委員氏名

なし

3 説明のため出席した者の職氏名

総務部長	野田寿
建設部次長兼建設課参事兼総務部次長兼庁舎建設課参事	萩原有高
総務部次長兼庁舎建設課長	古澤哲也
庁舎建設課長補佐兼庁舎建設係長	田中秀信

4 出席した議会事務局職員の職氏名

議事調査係主査 武田隆洋

5 日程

新庁舎整備事業について

[報告、質疑]

6 傍聴者

9人

7 その他

なし

それでは、次にスケジュールでございます。

令和2年12月まで設計見直し作業を行っておりまして、令和3年度の第2四半期ごろの工事着手を目指しまして発注準備等を行っていきたいと考えているところでございます。

新庁舎建設工事につきましては、令和3年度と令和4年度の2か年の計画でございます。

新庁舎建設工事完了後に旧庁舎から新庁舎への移転を行いまして、その後に本館棟の供用開始を予定しているところでございます。

新庁舎への移転が完了いたしましたら、旧庁舎等の解体工事、それに外構工事を令和4年度から令和6年度にかけて行っていきたいと考えているところでございます。

全体の供用開始につきましては、令和7年度を予定しているところでございます。

新庁舎建設工事等の予算につきましては、継続費を令和2年度、令和3年度で設定しておりますけれども、事業期間の変更に伴いまして継続費の補正も必要でございますので、次の市議会定例会で御審議をお願いしたいと考えているところでございます。

次に、事業費についてでございます。

事業費につきましては、変更はございません。

新庁舎建設費といたしましては約52.9億円、外構・解体費といたしまして約7.8億円、設計費等といたしまして約5.2億円、合計の65.9億円でございます。

次に、財源計画についてでございます。

財源につきましては、公共施設等適正管理推進事業債が約43.4億円の見込みでございまして、国におきまして起債対象事業費の算出方法が変更されましたために増額となっております。

また、その2段下ですが、この本庁舎の解体に対しまして、国の社会資本整備総合交付金の活用が見込めますため、新たに約4,000万円を計上しているところでございまして、その関係で基金、それに一般単独事業債、一般財源がそれぞれ減額となったところでございます。

簡単ですけれども、説明については以上でございます。

よろしく願いいたします。

中村直人委員長

それでは、執行部の説明が終わりましたので何かこの際、確認したいことなどがありましたらお願いしたいと思います。

中川原豊志委員

まず、設計見直し等をされたというふうなことでございますけれども、その大きなものが柱や、はり、要はプレキャストから現場打ちに変えましたと。

以前の委員会でも、プレキャストから現場打ちにしたほうが安くなるんじゃないかっちゅ

う話もしたことがあって、その折には、そんなに変わりませんというふうな答弁があったような気がするんですが。

実際、プレキャストから現場打ちにすることによって、その差額というのは発生したのかどうか、まず確認をさせてください。

萩原有高建設部次長兼建設課参事兼総務部次長兼庁舎建設課参事

今回、プレキャストから、やっぱり鉄筋コンクリート造にすることによって価格が下がっております。

ただしほかの、今回、見積りをまた再徴収をこちらのほうで行っておりますので、その分の見積りで上がってる部分ございますので、そういった形で今回内容を修正しているところがございます。

中川原豊志委員

見積りも下がったというふうなことでございましたんで、逆に下がるようだったら、最初から早めにやとったほうが、前回入札辞退というようなことがなかったのかもしれないなという気がいたしますんで、その辺はちょっと、再度考え直してほしいなと思います。

それから、金額的には、今までと変わらないというふうなことでございますけれども、今後のスケジュールの中において、じゃあこれをどういうふうな発注形態、または入札時期等を考えてらっしゃるのかも、お教え願いたいと思います。

古澤哲也総務部次長兼庁舎建設課長

入札の方法とかスケジュールについては、まだ検討を加えている段階でございますので、もうちょっと検討のほうに時間を頂きたいなというふうに思っております。

以上でございます。

中川原豊志委員

まだまだ検討ということでございますけれども、前回のように1者JVとか、ああいうふうなことじゃなくて、やっぱり数者参加できるような方法をいろいろ考えていただきたいなというふうにお願いをいたします。

以上です。

中村直人委員長

ほかにございませんか。

尼寺省悟委員

入札の日程、スケジュールは決まってないということだったんですけれども。

前回、入札の辞退というふうになったんやけど、そういうふうにならない限りで、今回どういった——いろいろ検討されたと思うんやけれども、その辺はどんなふうを考えられたん

か。

私は、大きく2つぐらいあったと。

1つは、予定価格ですね。

業者の方については、資材の高騰とか人件費とか、あるいはコロナ対応とかそういったことで経費が上がったと。

一方、執行部のほうとしては、いろいろ調査したけど、そんなことはなかったということであったんやけれどもね。

結果的に、予定価格が低過ぎたと。

その辺を、どんなふうに見られてるんかということと、あと入札をしやすい仕組みっちゅうか、その辺についても検討していくというふうなことをずっと言われとったと思うんやけれども、その辺についてはどんなふうにご検討いただけますか。

萩原有高建設部次長兼建設課参事兼総務部次長兼庁舎建設課参事

価格についてですが、今回大きな変更をしております、プレキャストから鉄筋コンクリート造。

そういったことで、一般的な工法にすることで価格についても抑えられて、全体的には取りやすく、価格的にも取りやすくなるような金額になったのかなというふうには思っているところがございます。

尼寺省悟委員

よその事例やけど、アリーナがあったときね、あのときも予定価格が低過ぎるということで不調になって、結果的にあそこはかなり、五十何億円とか上げた形でもう一回やり直したと。

今回、金額的に変わらんということであったとしても、前回と同じようなふうにはならないと、大丈夫だと、そういうふうにご検討いただけますか。大丈夫だと、ならないと。

萩原有高建設部次長兼建設課参事兼総務部次長兼庁舎建設課参事

業者のほうが入札できる金額ということで、今回進めてまいりましたので、そういうふうな考えに立っているところがございます。

尼寺省悟委員

そうですか。

あと、もう一点。

入札しやすい、その仕組みに変えるということ、それについてはどんなふうにしたわけ、その辺は。

古澤哲也総務部次長兼庁舎建設課長

仕組みとといいますか、在来工法とといいますか、そちらのほうに変えたのが一つの方法だろうというふうに思っております。

尼寺省悟委員

一般質問の中でもいろんな形で出とって、今回はJ Vを組んだ形でその組合せでしたけれども、ある別のところでは、代表者だけ決めて、そこだけ決めて、後、決まった段階で地元と組んでやっていくと、そういうやり方はどうなのかというような提案もなされたと思うんですけども、その辺の、何か検討っちゃうようなものはされたんですかね。

古澤哲也総務部次長兼庁舎建設課長

議員から、そういった方式の方法も、確かに議会の中で御紹介をいただいたところです。そこら辺を含めて、今、要は検討してるというようなところでございます。以上でございます。

尼寺省悟委員

だから、今検討してるというところですね。いつぐらいまでに、それ決めるんですか。

古澤哲也総務部次長兼庁舎建設課長

なかなかいつぐらいまでっていうのが、今ちょっとお答えするのが難しいですけども、できる限り早く検討していきたいなというふうに思っております。

尼寺省悟委員

この全体のスケジュールを見るとね、そんなに時間はないと思うんですけど。いいです。

中村直人委員長

ほかにございませんか。

中川原豊志委員

すいません、もう一点だけ。

設計見直しをされた中で、前回の内容では、耐震関係は免震にされとったですかね。

それで、3階建ての建物でそこまで必要だろうかというふうな意見が出たこともあったと思うんですが、その辺、今回の見直しはどういうふうにされているのかちょっと確認だけさせてください。

萩原有高建設部次長兼建設課参事兼総務部次長兼庁舎建設課参事

今回、免震構造はそのまましております。といいますのが、一つは、免震構造のほうが耐震に対する性能がいいこと。

もう一つについては、免震構造を耐震構造にすると大幅な設計の見直しが生じてきます。

鳥栖市議会委員会条例第 29 条の規定によりここに押印する。

鳥栖市議会総務文教常任委員長 中 村 直 人 印

